

令和8年度 第1回但馬地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：令和8年6月12日（金） 14時00分～16時00分

場 所：豊岡市役所 2階大会議室

次 第：

1. 開会
2. 協議事項
 - (1)但馬地域公共交通活性化協議会の運営（案）
 - (2)但馬地域公共交通計画の中間評価（案）
 - (3)但馬地域公共交通計画の中間見直し（案）
 - (4)但馬地域公共交通計画の一部改定（案）
（地域公共交通確保維持事業等の申請に係る改定）
3. 国からの情報提供
「交通空白」に関する取組状況と今後の対応等について
4. その他
5. 閉会

議事要旨

○主な意見

[但馬地域公共交通計画の中間評価（案）]

委 員：鉄道の乗降人数が一部未公開になっているが、問い合わせてはどうか。

委 員：市町をまたぐ新たなバス路線数が0本で推移しているのはなぜか。

事務局：実証実験を2路線で行ったが、利用状況等から鑑みて実現に至らなかった。

委 員：計画の中間年を迎えるにあたり、評価指標の見直しも必要である。

[但馬地域公共交通計画の中間見直し（案）]

委 員：全但バスの貨客混載事業はどのように実現したのか。

事務局：近畿大学の教員からアドバイスを受けて実現した。昨年度は大阪商工会議所でプレゼンを行い、参画事業者を募った。

委 員：豊岡市のスクールバスの一般混乗について、昨今の社会情勢を受けて、住民や保護者の懸念の声は出ていないか。

事務局：運行に関する懸念は出ていない。一般客との混乗について安全対策の要望があるので、カメラの設置や座席の区分け等で対応を行っている。

委員：養父市では、デマンド交通の運行による「健康増進＝医療費削減の可能性」に言及しているが、これについて具体的な経過観察等を行っているか。

事務局：特に行っていない。デマンド交通の利用により外出しやすくすることで、健康寿命が延びればと考えている。そのための適切な料金設定を検討していく。

委員：朝来市の高校生との連携による駅の待合環境改善の取り組みの中で、二次交通等に関する議論もあったか。

事務局：高校独自のプロジェクトの中で、昨年度は駅待合環境の改善とローカル線問題の２テーマで活動されていた。市もこうした高校生の活動に連携・協力を行った。

委員：新温泉町の町民バス「夢つばめ」について、昨今は運行形態と町民の移動ニーズとにズレが生じていると分析されているが、具体的に移動ニーズにどういう変化があったのか。

事務局：スクールバスでは下校時間にばらつきがあるため、下校に十分対応できていない。高齢者はバス停に行くまでにも困難があり、また通院では帰り時間に合う便がないという状況も生じている。

委員：中間見直しの主な方向性について、委員に異議なく了承されたため、この内容で検討を進める。

[但馬地域公共交通計画の一部改定（案）]

委員：補足説明をすると、国が新たに観光フィーダー系統補助を創設した。観光需要に対応する二次交通へ補助を行うもので、豊岡市の一部路線は適用の可能性があるため、申請に向けた計画改定案が示された。

委員：観光フィーダー系統補助の内容を含め、委員に異議なく了承されたため、この内容で申請を進めることとした。

以上